



海のお仕事体験プロジェクト in海洋都市神戸（海と日本2023） 報告書

.....

<目次>

2023年度 総括	...	1
事業内容_1.お仕事体験プログラム開発・実施	...	2
事業内容_2.職業啓発	...	16
事業内容_3.情報発信	...	17

.....

今年度の総括

2022年の初開催を受けての2年目として迎えた2023年では、初年度に引き続き、都市型の強み（企業等の巻きみやすさ、集客力、情報拡散力など）や行政と密に連携した運営体制を活かして、夏休みの神戸市を中心に海にまつわる様々なお仕事体験を全18種56回にわたって盛大に開催し、677名の親子に体験を提供。川崎重工、神戸大、古野電気など目玉となる企画の実施により、多数のメディア露出にも成功し、規模感、体験ジャンルの幅広さ、話題性などさまざまな面で取り組みを拡大・強化することができた。

また、海の仕事インタビュー記事を中心にわかりやすく紹介する小学生向け副教材「海のお仕事をもっと知ろう」では、造船分野や海上保安官、海にまつわる研究者など子どもにも興味を持ってもらいやすい職種を追加し、全13種の海のお仕事を紹介。神戸市内の公立小学校169校に通う小学3年生約13,000名に配布することができた。



海のお仕事体験を全18種56回
677名の親子が体験



TV4回・新聞3回 他
多数メディアに露出



全169校・約13,000名の
小学3年生に副教材を配布

今年度の成果

- 個性豊かなプログラムの開発・実施により、大企業や公的機関の巻き込みなどの面で重要になる実績・前例を作ることができた。
- 熱心で質の高い海のお仕事体験のファン・リピーターを多数獲得することができ、地域への取り組みの定着に向け大きく前進することができた。
- 多数のメディア取材を誘致することに成功し、今後の効果的な情報発信に資するメディア関係者とのネットワークを築くことができた。
- 夏休み期間中全26回に渡って開催をしたプログラム事例を作ることができた一方で、多日程開催に伴うクオリティ確保にかかる相応の負担を確認し、事業者意欲と開催本数設定の調整にかかる知見の得ることができた。

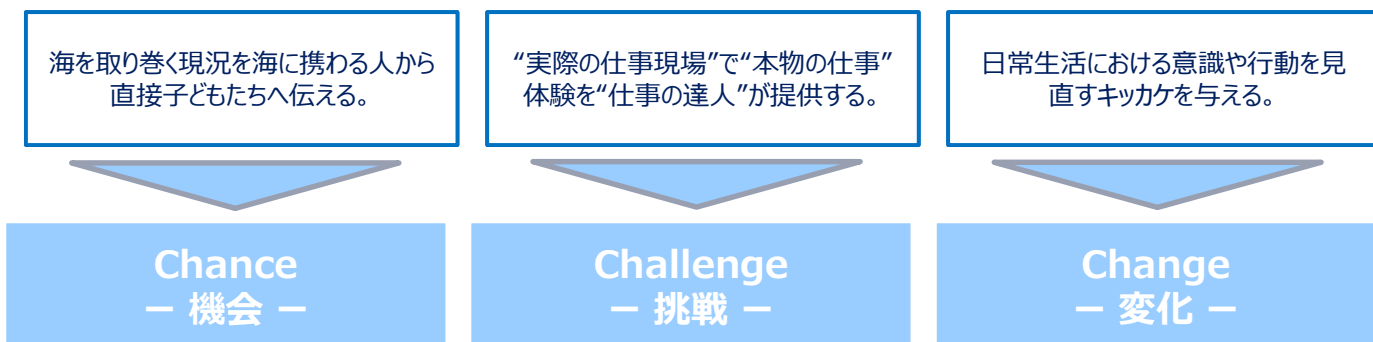
次年度の展望

- 参画に際し利益を目的としないため実施意義等について繊細な調整が必要な公的機関や大企業等へのアプローチを積極的に行い、取り組みの話題性・訴求力の強化を模索する。
- 職業理解の促進に資するワークシートをプログラムごとに制作することで体験の質を高めるとともに、自由研究にも対応させることで親子の誘引力強化につなげる。
- 体験プログラムによる啓蒙に加え、個々を括った"海のお仕事"全体での発信を強化することで、普段目につくづらい海の仕事の存在・重要性を周知し、リテラシーの底上げを図る。

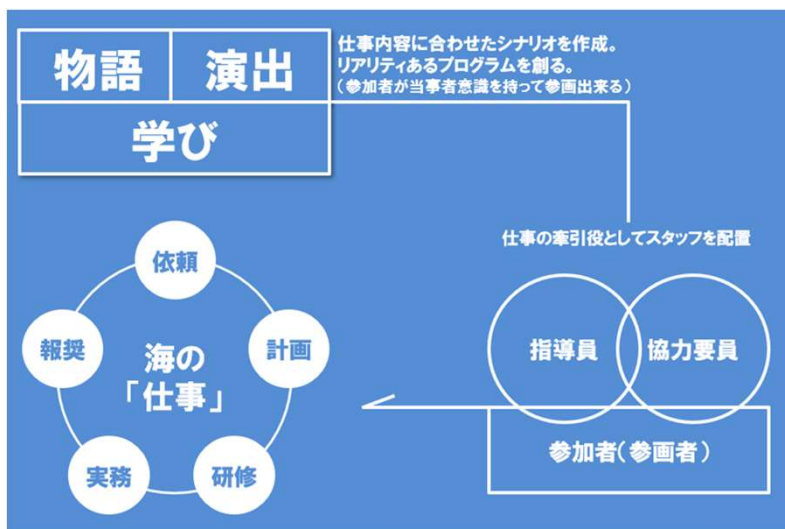
プログラムの開発方針

参加者の体験・学習効果を高める“リアル”なお仕事体験を実現するため、共通テーマに則ってプログラムを開発。「依頼」→「計画」→「研修」→「実務」→「報奨」といった仕事の流れに沿ったシナリオをプログラムごとに作成するとともに、オリジナルの制作物も活用したリアリティのある世界観づくりも大事にしながら事業を推進。

【共通テーマ】“実際の仕事現場”で“本物の仕事”体験を“仕事の達人”が提供する。



■開発イメージ



■ユニフォーム



■報酬



■名刺



■認定証 (缶バッジ)



2023年度実施概要

開催期間：2023年7月2日（日）～8月26日（土）
 開催場所：神戸市内近郊&各所
 開催本数：全18種56回開催（内10種が新規）
 参加者数：親子677人（応募総数2713人）
 連 携：神戸市及び地域事業者等20団体



体験内容	連携先	開催本数	応募		参加	
			大人	子供	大人	子供
1 造船のお仕事	川崎重工業	1	9	10	8	9
2 研究員のお仕事	神戸大学	1	13	13	11	11
3 港湾プログラミングのお仕事	神戸大学	4	22	20	22	20
4 水中ロボット開発のお仕事	神戸高専ロボティクス	2	15	18	12	14
5 岸壁調査のお仕事	神戸高専ロボティクス	1	7	7	5	5
6 養殖支援のお仕事	古野電気	1	15	15	5	6
7 釣具開発のお仕事	ハヤブサ	2	10	12	7	9
8 遊覧船 船長のお仕事	神戸ベイクルーズ	1	2	2	2	2
9 商品企画のお仕事	伍魚福	2	12	15	8	10
10 飼育・展示員のお仕事	外来生物展示センター	1	106	123	12	11
11 観光船クルーのお仕事	神戸シーバス	4	15	20	7	6
12 漁師のお仕事	すまうら水産	2	13	14	9	10
13 卸売市場のお仕事	神戸市中央卸売市場	1	8	8	8	8
14 ライフセーバーのお仕事	神戸LSクラブ	4	59	69	53	62
15 港のお仕事	上組	1	6	9	6	9
16 豪華客船のお仕事	神戸クルーザー	26	128	95	128	95
17 カーフェリーのお仕事	宮崎カーフェリー	1	888	682	26	33
18 港湾のお仕事	港湾短大、商船港運	1	139	114	14	14
		56	1467	1246	343	334
			2713		677	





1.造船のお仕事



造船の説明



溶接体験



ペットボトル研修



船台・工場見学

連携	川崎重工業株式会社
開催日時	8/25(金)
人数	親子17名
内容	<p>【体験テーマ】 船の製造（造船）とそれに必要な技術（アーク溶接）を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 鉄の板同士をつなぎ合わせるための技術“アーク溶接”の溶接作業に挑戦しました。その後、ペットボトルを使った実験で船が浮かぶ仕組みについても学び、造船になくてはならない技術を勉強しました。</p>



2.研究員のお仕事



プランクトンの学習



採集



観察



記録

連携	神戸大学 内海域環境教育研究センター
開催日時	7/8(土)
人数	親子22名
内容	<p>【体験テーマ】 淡路島に生息するプランクトンの生息状況を調査！</p> <p>【体験の流れ】 まずは海やプランクトンについての研修を受けてから、実際に漁港でプランクトンの採集を行いました。その後、研究センターで観察と記録を行い、プランクトンが担う重要な役割について立体的に学びを深めました。</p>



3.湾岸プログラミングのお仕事



研修



プログラミング



発表



レポート作成

連携	神戸大学V.School、 海洋水産技術研究所
開催日時	7/29(土)、7/30(日)
人数	親子42名
内容	<p>【体験テーマ】 プログラミングを通して 海事産業の仕事・技術を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずは研修を受けてから、その後実際にプログラミングに挑戦！自分で作り上げたプログラムが、画面上のシミュレーションではなく、目の前のロボットとリンクすることでより多くの気づきを得ることができました。</p>



4.水中ロボット開発のお仕事



水中ロボットの研修



耐水圧テスト



試験結果の確認



レポート作成

連携	神戸高専ロボティクス
開催日時	7/30(日)
人数	親子26名
内容	<p>【体験テーマ】 水中ロボット開発（カメラ部分の耐圧試験）に挑戦し、海の中の"水圧"について学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 ロボット開発の研修を受けた後、実際に水中ロボットに取り付けるカメラが、海の中の水圧に耐えられるかを確認する動作試験を行いました。そのなかで、水圧の特徴や水中ロボットの開発上気を付けるべき点などを学びました。</p>



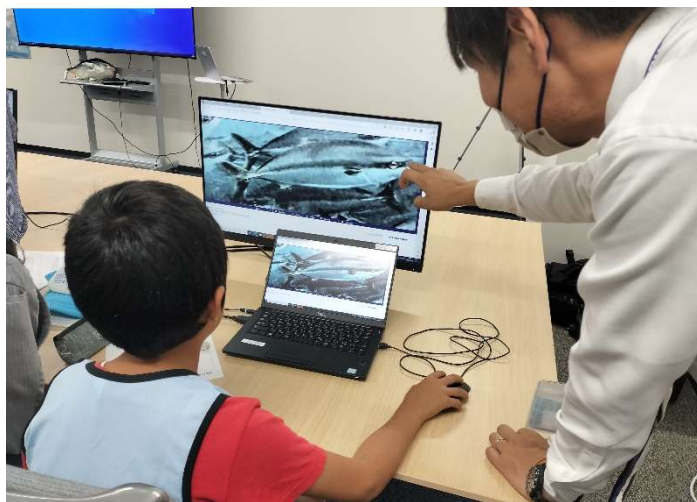
5.岸壁調査の仕事



連携	神戸高专ロボティクス、須磨里海の会
開催日時	8/21(月)
人数	親子10名
内容	<p>【体験テーマ】 水中ロボットで漁港の岸壁を調査！ 海の生き物マップの作成に挑戦</p> <p>【体験の流れ】 水中ロボットで岸壁を撮影する操縦係、ケーブルを捌く係、水中ロボットの位置を用紙に記録する係に分かれて、漁港の岸壁調査を行いました。その後は、見つかった生き物をまとめてオリジナルマップを完成させました。</p>



6.養殖支援の仕事



連携	古野電気株式会社
開催日時	8/23(水)
人数	親子11名
内容	<p>【体験テーマ】 養殖漁業の課題を解決する「魚体重推定システム」の提案に挑戦！</p> <p>【体験の流れ】 養殖漁業について研修を受けた後は、実際にPCを操作しながら、最新のAI技術「魚体重推定システム」を学びました。その後、どうすれば製品の良さが伝わるのかなどを考えながら、個性豊かな提案書を作成しました。</p>



7.釣具開発のお仕事



連携	株式会社ハヤブサ
開催日時	7/31(月)、8/18(金)
人数	親子16名
内容	<p>【体験テーマ】 オリジナルのサビキ仕掛を開発 釣り場の海を守る工夫を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 釣具についての研修を受けた後は、自分なりに針を組み合わせてオリジナルのサビキ仕掛商品を作りました。そして、本当に魚が釣れるか商品テストも行い、仕掛ごとに釣れる魚の違いなどをしっかり考察しました。</p>



釣具の学習



サビキ仕掛の制作



商品テスト



発表



8.遊覧船船長のお仕事



連携	神戸ベイクルーズ株式会社
開催日時	7/17(月)
人数	親子4名
内容	<p>【体験テーマ】 船長になって「安宅丸」の運航を成功させる</p> <p>【体験の流れ】 安全かつ快適なクルーズを届けるために、出港前の点検、お客様のお出迎えから船内アナウンスまで、幅広く挑戦しました。なかでも船内アナウンスは、お客様に対して実際に情報をお届けしたことで、大きな達成感を感じられる体験となりました。</p>



お客様のお出迎え



見張り



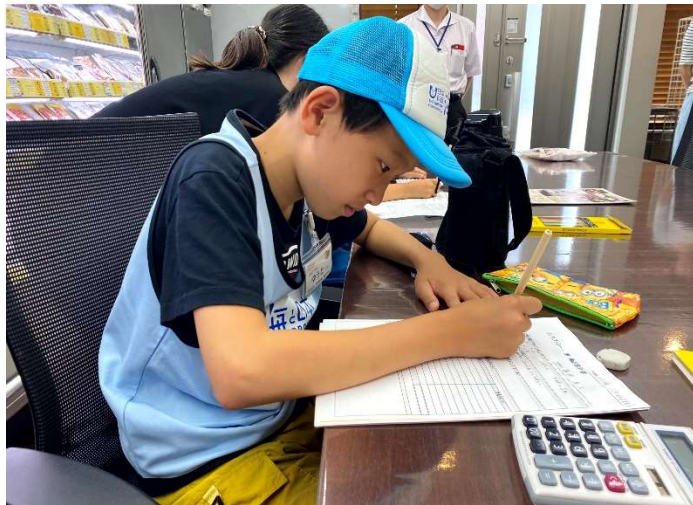
船内アナウンス



レポートの作成



9.商品企画のお仕事



研修



商品企画



POP作成



発表

連携	株式会社伍魚福
開催日時	7/25(火)、7/28(金)
人数	親子18名
内容	<p>【体験テーマ】 オリジナルのセット商品を企画 多くの人に届けるための工夫を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 商品を買ってもらいたい人（ターゲット）を考えるとこから始め、伍魚福で扱っている様々なおつまみを組み合わせるセット商品を企画しました。 その後、POPの作成や商品棚への配列など、商品を手にとってもらうための工夫も学びました。</p>



10.飼育・展示員のお仕事



外来生物の学習



清掃



給餌



標本作成

連携	外来生物展示センター
開催日時	8/13(日)
人数	親子23名
内容	<p>【体験テーマ】 飼育展示の仕事を通じて 外来生物について学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 まずは飼育水槽の清掃を行い、その後外来生物に与えるための餌の準備と実際に給餌も行いました。最後に、神戸で採集された外来カミキリの標本作成にも挑戦し、外来生物について多角的に学びを深めました。</p>



11.観光船クルーのお仕事

連携	神戸シーバス
開催日時	7/25(火)、8/1(火)、8/2(水)、8/8(火)
人数	親子13名
内容	<p>【体験テーマ】 船の安全・快適なクルーズを守るための仕事を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずは、出航に向けての点検とお客様のお出迎えを行いました。その後、普段立ち入ることができない操舵室で見張りのお仕事や手旗信号の体験をし、安全・快適なクルーズを支える仕事について学びました。</p>



船について学習



船内アナウンス



操舵室の見学



手旗信号



12.漁師のお仕事

連携	すまうら水産
開催日時	7/22(土)、7/29(土)
人数	親子19名
内容	<p>【体験テーマ】 漁～せりまでの流れを体験 海産物が食卓に届くまでの過程を学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 かご網を使ったタコ漁のお手伝いに挑戦しました。設置したかご網からタコを受け取り、1匹ずつネットに入れる体験をした後は、市場に移動し昼市のせりでタコに値段がつけられていく様子を見学することができました。</p>



漁の仕組みを学習



かご網漁体験



タコの移し替え



せり見学



13.卸売市場のお仕事



市場見学



アジを捌く体験



試食



ちりめんの異物除去

連携	中央市場 神戸本場
開催日時	8/3(木)
人数	親子16名
内容	<p>【体験テーマ】 流通の拠点"卸売市場"の仕組みと「食」の安全について学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 まずは水産品を中心に扱う仲卸業者さんの元を回り、お仕事を教わりました。次に、実際に市場に届いたアジを捌く体験とちりめんにごった異物（ちりモン）を取り除く仕事を通して市場の中の様々なお仕事を学びました。</p>



14.ライフセーバーのお仕事



ビーチクリーン



海の状態確認



応急処置の研修



トレーニング

連携	NPO法人神戸ライフセービングクラブ
開催日時	7/25(火)、7/26(水)、7/27(木)、8/1(火)
人数	親子115名
内容	<p>【体験テーマ】 ライフセーバーの仕事を通じて海での安全について学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 まずは、ビーチクリーンと海の状態の確認（五水チェック）をして、海の状態を確認しました。次に、応急処置の方法について学び、海での安全を守るライフセーバーとしてのトレーニングを行いました。</p>



15. 港のお仕事



連携	株式会社上組
開催日時	8/23(水)
人数	親子15名
内容	<p>【体験テーマ】 輸入フルーツの品質管理を体験 港湾物流の役割・流れを学ぶ</p> <p>【体験の流れ】 まずはじめに、倉庫内の温度管理について学び、野菜や果物が出荷までの間どのように保管されているのかを知りました。その後は実際に倉庫で品質チェックのお仕事に挑戦！果物の状態確認や温度測定を行いました。</p>



温度管理の研修



荷役作業の見学



倉庫内見学



品質チェック



16. 豪華客船クルーのお仕事



連携	株式会社神戸クルーザー
開催日時	7/15(土)~8/26(日)
人数	親子223名
内容	<p>【体験テーマ】 豪華客船の安全・快適なクルーズに必要な仕事を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずは船内の設備などに異常がないかを点検して回りました。その後、実際にお客様のお出迎をし、出航合図も順番に体験！普段は立ち入ることのできない操縦室も見学させていただき、大型客船を隅々まで学ぶことができました。</p>



点検



お出迎え



操縦室見学



船についての学習



17.カーフェリーのお仕事



連携	宮崎カーフェリー株式会社
開催日時	7/2(日)
人数	親子59名
内容	<p>【体験テーマ】 カーフェリーの船内を体験 普段見られない港の裏側を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずはカーフェリーについてクイズ形式で楽しく学んでから、実際にフェリーたかちほに乗船！船内の客室やレストラン、車両デッキを特別に見学させていただき、普段は見ることのできない港の裏側について学びました。</p>



カーフェリーの学習



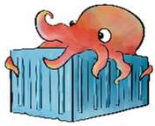
客室見学



救命備品の学習



車両デッキ見学



18.港湾のお仕事



連携	神戸市、湾職業能力開発短期大学校神戸校、商船港運株式会社
開催日時	7/31(月)
人数	親子28名
内容	<p>【体験テーマ】 コンテナ物流に密着 普段見られない港の裏側を知る</p> <p>【体験の流れ】 まずはじめに、コンテナの仕組みや、実際に船にコンテナを積み込むときに考えるべきポイントなどを学びました。そしてその後、実習用のシミュレーターをお借りして、ガントリークレーンの操縦を体験しました。</p>



港湾の研修



操縦体験



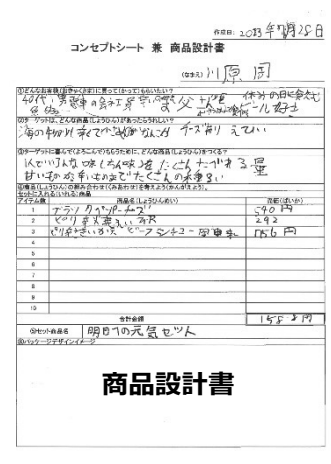
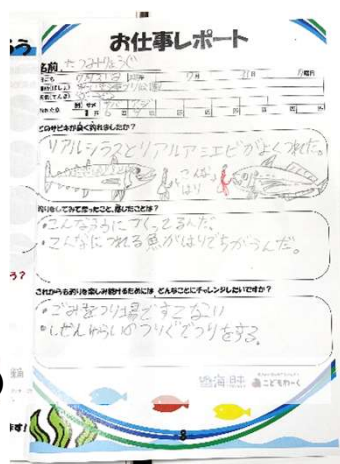
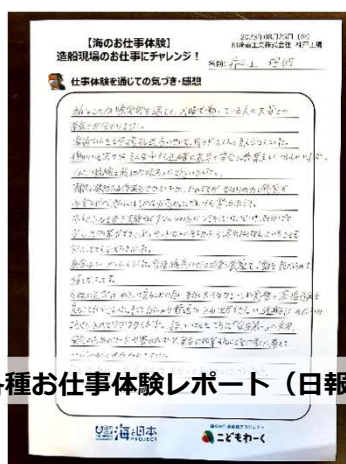
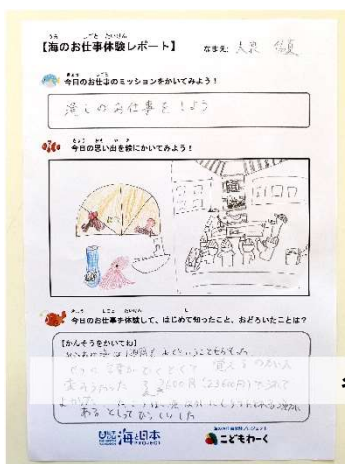
フォークリフト乗車



物流現場見学

TOPIC①：体験効果を高めるアウトプットの作成

お仕事体験に共通して1日の振り返りとして行っている日報のほか、プログラムの必要性に応じてオリジナルのワークシートなどを作成し、プログラムの没入感・学習効果を高めるとともに、子どもたち一人一人の個性や創意工夫を引き出すことに成功した。



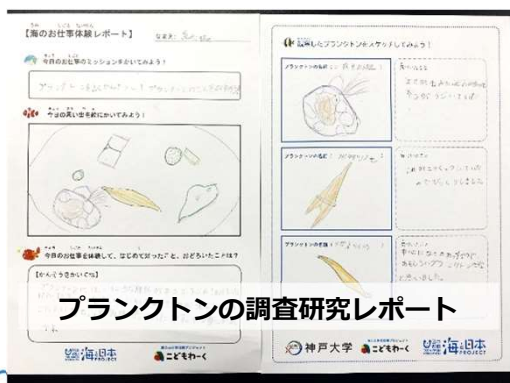
各種お仕事体験レポート（日報）



発航前検査記録簿



FURUNO 魚体重推定システムと提案書



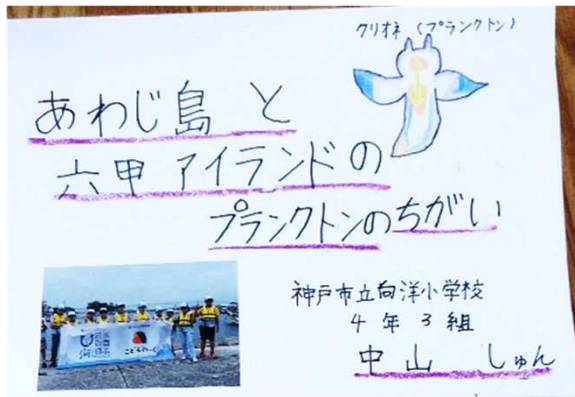
プランクトンの調査研究レポート



水中ロボットでの岸壁調査マップ

TOPIC②：参加者による二次波及（自主的な発展学習）

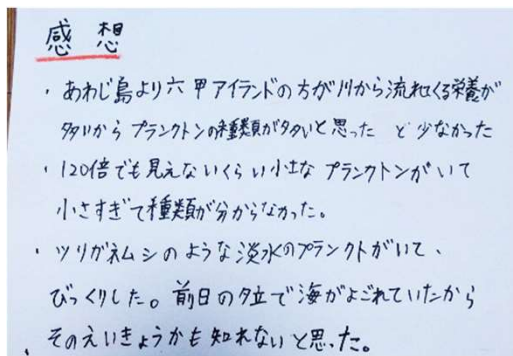
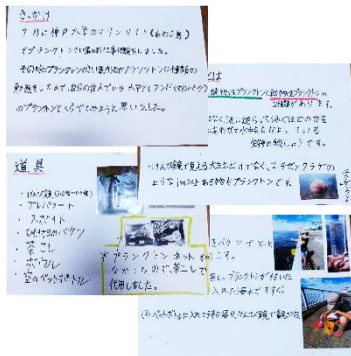
プログラム中のわかりやすい説明や印象に残る体験の実現に加え、夏休み期間中の集中開催も相まって、当日のお仕事体験から興味関心を深める形で夏の自由研究をまとめたというご報告を多数いただいた（写真は一部）。



『あわじ島と六甲アイランドのプランクトンの違い』
中山しゅんさん（小学4年生）

＜制作の経緯＞

プランクトン研究のお仕事体験に参加し、プランクトンに興味を持ち、自宅のくの海(六甲アイランド)のプランクトンを採取し観察した。



『みんなのヒーローライフセーバー』
前田じゅなさん（小学4年生）

＜制作の経緯＞

ライフセーバー体験をして、もっと仕事について知りたくなり、また皆に伝えたくなったから



TOPIC③：多くの好評をいただいたアンケート

体験後のアンケートでは、子どもたちからは、お仕事体験を通じて得た学びや気づきを自分たちの言葉で伝えてくれる感想が多数寄せられ、保護者の方からは、保護者の立場から感じた子供の変化や本体験の価値に関する感想を多数お寄せいただきました。

子どもたちの感想

<海について学べた・より深く学びたくなったという声>

「POP作りとか、商品の組み合わせなど、色々体験できて、商品組み合わせが一番印象に残りました。海とのつながりが勉強になったので良かったです。」(小6、男子、商品開発のお仕事)

「難しかったけど、将来神戸大学に来て、海について勉強してみたいです。」(小4、女子、港湾プログラミングのお仕事)

<実際に働いている人の凄さを感じたという声>

「溶接では目を保護する道具のせいで周りがほとんど見えませんでした。働いている方々は、そんな中でも正確に素早く安全に作業をいらっしゃいました。どれだけ経験を積まれたのだろうか、と思いました。…今回はお忙しい中、企画していただいて、ありがとうございました。」(中1、女子、造船のお仕事)

「魚のさばき方は大変で驚いた。とても大変なことをテキパキしているプロの人たちはすごいと思った。」(小5、男子、魚市場のお仕事)

<初めての体験に気づきを得たという声>

「プランクトンには、色々な種類があると初めて知りました。顕微鏡を見ていて、色々な生き物がうじゃうじゃ動いて、ちょっと気持ち悪かったです。でも楽しかったです。」(小4、女子、研究員のお仕事)

「今まで船には乗ったことがなかったから、船を出すのにこんなに手間がかかるとは思っていませんでした。クルーの仕事には、こんなに人がたくさんいるんだと思いました。」(小4、男子、観光船クルーのお仕事)

保護者の感想

<海の体験が子供に良い影響を与えたと感じたという声>

「海の怖さと遊ぶ楽しさを教わり、自然の中で伸び伸びと自分や人の命を守る大切さを感じていたので、成長した実感があって、参加できてよかったです。」(40代、女性、ライフセーバーのお仕事)

「今までにしたことのないような体験に子どもたちの笑顔もいっぱい、知的好奇心がくすぐられていると感じました。漁師さんたちも親切で優しくて、とても良い経験ができました。このようなイベントがたくさんあると良いと思います。」(40代、女性、漁師のお仕事)

<貴重な体験に大きな価値を感じたという声>

「少人数で、一人一人に訓練生の方がついて下さり丁寧に接していただけて、息子も楽しそうにしていました。物作りが大好きなのですが、今頃、学校ではこのような教育を受ける時間がとても少ないので、貴重な経験となりました。」(40代、女性、造船のお仕事)

「ロボットをまさに作っている、研究をまさにやっているその場で、実験を体験させていただくというのは、子どもにとって最高の体験だと思います。先生の「何故海中ロボットをつくりたいのか」という話も、人生の先輩がどんな思いで仕事をしているのか、子どもにも素直に伝わったと思います。ありがとうございました！」(40代、男性、水中ロボット開発のお仕事)

「食卓に並ぶ食材の流通について学ぶことがあっても、生産者を助ける技術について知る機会はほとんどないので、私自身も楽しい貴重な機会だった。」(30代、女性、養殖支援のお仕事)

小学生向け副教材「海のお仕事をもっと知ろう」

子どもたちに幅広い海の仕事について広め、興味関心を深めてもらうとともに、将来の海洋人材育成などを目的として、神戸の海で実際に仕事をしている方々13名に取材した内容を元に、全16ページの副教材を制作。WEB上で一般に公開するとともに、神戸市立小学校に通う3年生には、B5版冊子を各小学校経由で配布。

副教材概要

配布対象：神戸市立小学校（特別支援学校含む、全169校）に通う小学新3年生

配布部数：計13,050部

紹介職種：水族館の飼育員、ライフセーバー、漁師、仲卸、通関士、コンテナ船プランナー、船長、機関長、設計士、造船所の工場長、海上保安官、研究者（水中ロボット、海藻）



設計士 川崎重工 沖見さま



造船所の工場長 金川造船 岩本さま



海上保安官 神戸海上保安部 森口さま



研究者 神戸高専 小澤さま 神戸大学 上井さま

TOPIC①：街頭告知（神戸市各所でのポスター掲示・チラシ配布）

行政との連携により、プログラムの募集開始に合わせて神戸市内各所へのポスター掲示・チラシ配布を実現。取り組みのキックオフを大々的に周知するとともに、募集ページへの導線を用意することで、神戸市内親子層の応募を喚起することができた。



両面チラシ

ポスター：58箇所掲示
チラシ：2200部配布



花時計ギャラリー



神戸空港



ポートアイランドビル



かもめりあ



みなと銀行本店「みなと神戸ギャラリー」



神戸市総合インフォメーションセンター

TOPIC② : TV・新聞・その他媒体への露出

メディア関係者への継続的な情報提供等によるアプローチの結果、多数のTV・新聞への露出を実現。同時に次年度以降にもつながるネットワークが得られた。

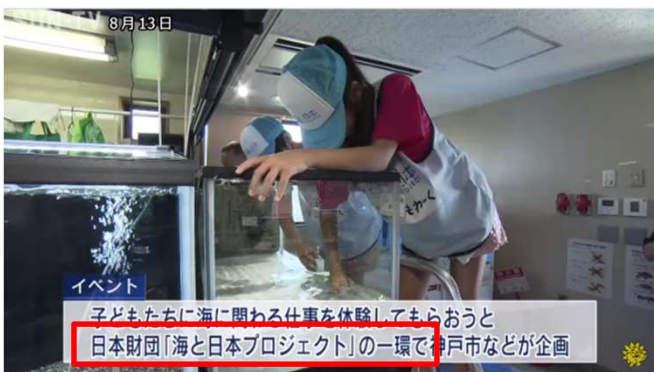
計 TV4回放送 新聞3回掲載

	日付	媒体名	体験
TV	8/13	サンテレビ「ニュースSUNデー」	飼育員のお仕事
	8/18	読売テレビ「かんさい情報ネットten.」	ライフセーバーのお仕事
	8/25	サンテレビ「キャッチ+」	造船のお仕事
	9/11	サンテレビ「キャッチ+」	養殖支援のお仕事
新聞	8/29	日刊海事プレス	造船のお仕事
	8/31	日刊工業新聞	
	10/8	神戸新聞「週間まなびー」	

8/18読売テレビ「かんさい情報ネットten.」(ライフセーバーのお仕事)



8/13サンテレビ「ニュースSUNデー」(飼育員のお仕事)



TOPIC② : TV・新聞・その他媒体への露出

8/25サンテレビ「キャッチ+」(造船のお仕事)



9/11サンテレビ「キャッチ+」(古野電気)



8/31日刊工業新聞(造船のお仕事)



8/29日刊海事プレス(造船のお仕事)

子供が溶接にチャレンジ

川重神戸でお仕事体験

川崎重工神戸工場が25日、子供が造船現場の実習を体験する企画が行われた。子供たちは溶接にチャレンジして、ものづくりについて学んだ。

この企画は、地域みらい創造センターが主催し、子育て支援事業を手掛けるアクトインディ(東京都)と神戸市の連携事業「こどもわーくin神戸2023」の1つ。「こどもわーく」は昨年から行われ、神戸市内や近郊で子供が神戸の海に係る仕事を体験することで、子供たちが「自分たちと海とのつながり」を感じてもらおうことが狙い。昨年は全12種、22回だった。今年度は8/25(日)に、日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環として行われた。

今回は初めて企画した川重で、「国内最先端の造船現場で溶接体験!造船現場実習に挑戦しよう!」とのタイトルで実施。参加したのは、兵庫県内の小学6年生1人と中学生8人の計9人。子供たちは溶接のため保護具を着て、指導教官の指示を受けながら表札ぐらゐの大きさの鉄板に文字をアーク溶接で刻んだ。このほか船に関する研修を受け、造船現場を見学してレポートを作成し、修了式を行った。



初めてのアーク溶接を体験



研修終了記念撮影

10/8神戸新聞子ども新聞週刊まなびー(造船のお仕事)



TOPIC②：TV・新聞・その他媒体への露出

■WEBマガジンHEAT (ハヤブサ)

海のお仕事体験「こどもわーくin神戸2023」とは？

■古野電気 (株) HP

■(株) 伍魚福 情報誌

TOPIC③：レポート記事・映像等によるWEB発信

後日、プログラムごとに体験のテーマや当日の様子などをまとめたレポート記事及び映像をWEB上で公開。取り組みについて、一般の方にも広く発信活動を行った。

■特集ページ「こどもわーくin神戸2023」(https://iko-yo.net/topics/kodomowork_kobe)

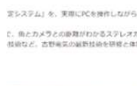
■レポート記事

2023年体験内容のご紹介



今回は、「こどもわーくin神戸2023」の一環で、2023年8月23日（水）に、志野電気株式会社にて開催された「食えない魚の食料を産出する技術の体験をレポート」についてご紹介いたします！

「子ども」の職業に挑戦すること。



本プログラムのお仕事体験先は、志野電気株式会社。

「子ども」の職業に挑戦すること。

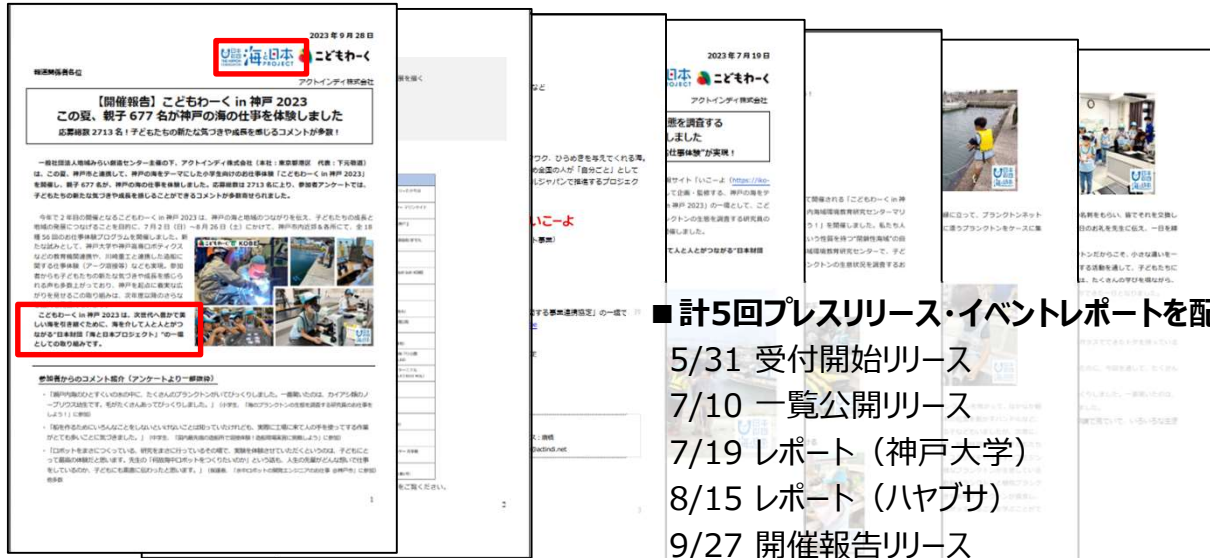
体験風景

「子ども」の職業に挑戦すること。

■映像

TOPIC④：要所ごとのニュースリリース配信

プログラムの募集開始、初開催企画の実施タイミング、終了後の開催報告等、取り組みの要所となるポイントでニュースリリースを配信。多数メディアへの転載実績を獲得。



- 計5回プレスリリース・イベントレポートを配信
- 5/31 受付開始リリース
- 7/10 一覧公開リリース
- 7/19 レポート (神戸大学)
- 8/15 レポート (ハヤブサ)
- 9/27 開催報告リリース

計 139回転載

■ 転載例：6/23 FQ Kids



■ 転載例：6/20 KOBE JOURNAL

